

2026 年 9 月 13 日

令和 8 年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会

林 但

1. 日時;9 月 11 日(金) 13:20~16:30
2. 会場;県立総合教育センター講堂(藤沢市善行)
3. 主催;神奈川県社会教育委員連絡協議会
4. 趣旨;社会教育委員をはじめ関係職員が一堂に会し、研修をととして各地域における活動の状況や研究の成果に確認するとともに、生涯学習の観点に立ち、あり方や課題解決と資質向上を図る。
5. 参加;市町村社会教育委員 & 事務局 120 余名

横須賀市(久保内・山岸・小林・蛭田・松山・林・入部 事務局 杉山・森・草間)

6. 内容 13:20~開会・あいさつ 13:25~ 講演や事例発表

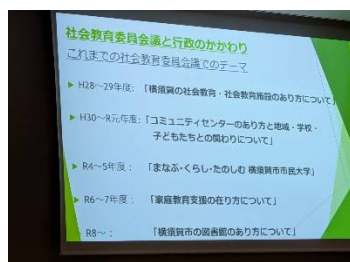
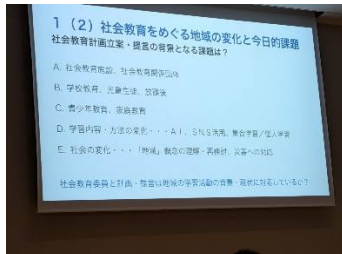
- (1)講演:テーマ「地域の教育力を高める社会教育委員の在り方～横須賀・鎌倉・逗子の事例から～」で、講師は、鎌倉女子大学教授・久保内加菜氏。法制度から社会教育委員の役割と社会教育をめぐる地域の変化と課題などが挙げられた。
- (2)上記を踏まえ、それぞれの市が事例紹介された。事例発表者は、横須賀市(人口 36 万):山岸雅人氏、鎌倉市(人口 17 万):下山浩子氏、逗子市(人口 5.4 万):萩村哲朗氏が市の概要、取り組んできた内容などである。
- (3)発表を聞いて感じたことは、各市の歴史や成り立ち、社会教育委員の類型などのより大きく違うことを感じました。
- (4)休憩をはさみ、少人数に分かれ 30 分のミニ討議でメンバーを変えて 2 回行いました。これが一番学びや気づきがあったように思います。
- (5)何人かがミニ討議で気づいたこと他の発表がありました、これは昨年の関東甲信越静岡の神奈川大会の時と同じ方法です。気づいたことは(3)と同じであり、加えて自治体の規模や事務局・学校運営協議会の状況によっても変わると感じました。

7. 参加して感じたこと気づいたこと

■上記(3)(5)

■横須賀の発表は、先般の会議等事前に見せてほしかったと感じました(同様な意見複数人あり)

■11 月の関東甲信越静岡の大会が群馬県であるが、自費でも構わないので参加させて頂きたい。



上段左:県協議会会長挨拶

上段中:課題の提示

上段右:発表者(真ん中が山岸氏)

下段左:横須賀の例

下段中:ミニ討議風景